

【発行元】

株式会社ケージーエム

〒360-0162

埼玉県熊谷市村岡306番地1

TEL：048-536-8113

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「リニューアルファクトリー」は、株式会社ケージーエムが運営する工場・倉庫改修ブランドです。工場・倉庫オーナー様の破損・老朽化対策や、増改築、リニューアルまでトータルサポートをお約束します。お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫改修を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「リニューアルファクトリー」を宜しく願いたします！

年末の物流ピークに備える！保管効率と荷役エリアの建築最適化

——縦空間の有効活用と「止まらないバース」で倉庫の処理能力を最大化する

倉庫経営において、限られた敷地面積の中で「どれだけ多く保管できるか（保管効率）」と「どれだけ滞りなく荷降ろし・積み込みができるか（荷役効率）」は収益に直結します。

繁忙期を前に見直すべき、倉庫特有の建築・設備戦略を解説します。



1. 「保管効率」を劇的に高める立体空間の活用

床面積を広げずに保管キャパシティを増やすには、倉庫特有の「縦の空間（有効階高）」を極限まで活用することが鍵となります。

① 高層ラック・中二階（メザニン）の導入と床耐荷重：

天井の高さを活かした高層ラックや、空間を2層化するメザニンラックの設置には、高い床耐荷重と揺れに強い構造設計が不可欠です。既存床の補強や平坦性の確保により、安全かつ高密度の保管空間を作り出します。

② 柱のスパン（間隔）拡大によるレイアウトの自由度向上：

柱の間隔が狭い倉庫はラック配置に死角が生じ、保管効率が低下します。大スパン設計への改修や構造の見直しにより、フォークリフトや自動搬送設備が最短ルートで動ける大空間を実現します。

【セクション1：まとめ】保管効率の向上は、単にモノを詰めることなく「高次元な縦活用」にあります。床の耐荷重と空間の広がり担保する建築設計が、限られた面積での収益性を極限まで高めます。

2. トラックの停滞を防ぐ「バース・荷役エリア」の構造強化

物流のボトルネックとなりやすいトラックバース（発着口）の処理能力を高め、ドライバーの待ち時間削減と安全な荷役を両立させます。

① ドックレベラーと大型庇（ひさし）による全天候型バース：

トラックの荷台と倉庫の床面を高精度にフラット化する「ドックレベラー」や、悪天候でも荷物を濡らさない深庇の設置により、天候に左右されないスピーディーな荷役を実現します。

② 動線分離と防塵・防虫スクリーンの配置：

入出荷ラインと保管エリアの動線を建築的に分離し、人・車両の交差事故を防ぎます。また、バース開放時のゴミや虫の侵入を防ぐ防塵・防虫対策を施すことで、預かり商品の品質管理を徹底します。

【セクション2：まとめ】トラックバースは物流倉庫の「心臓部」です。全天候型の荷役環境とスムーズな動線設計が、年末の荷物集中時にも滞らない強靱な物流拠点を生み出します。

まとめ：

倉庫の価値は、単に「荷物を保管する箱」であるかどうかではなく、荷物の流動性と保管密度をどれだけ高められるかで決まります。本格的な物流繁忙期を迎える前の10月に、保管効率とバース環境の課題を洗い出し、最適な建築アプローチを講じることは、現場の生産性向上と自社の競争力強化に直結します。既存倉庫のキャパシティ拡大や、バース周りの環境改善をお考えの際は、倉庫建築のノウハウを持つプロにぜひご相談ください。



工場・倉庫建築に使える
お得なお役立ちレポート↓



工場・倉庫改修専門店「リニューアルファクトリー」

（お問合せ窓口：五十嵐）

TEL：048-536-8113

〒360-0162 埼玉県熊谷市村岡306番地1

お問合せは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
048-536-8113迄ご返信をお願い致します。

案内
不要